

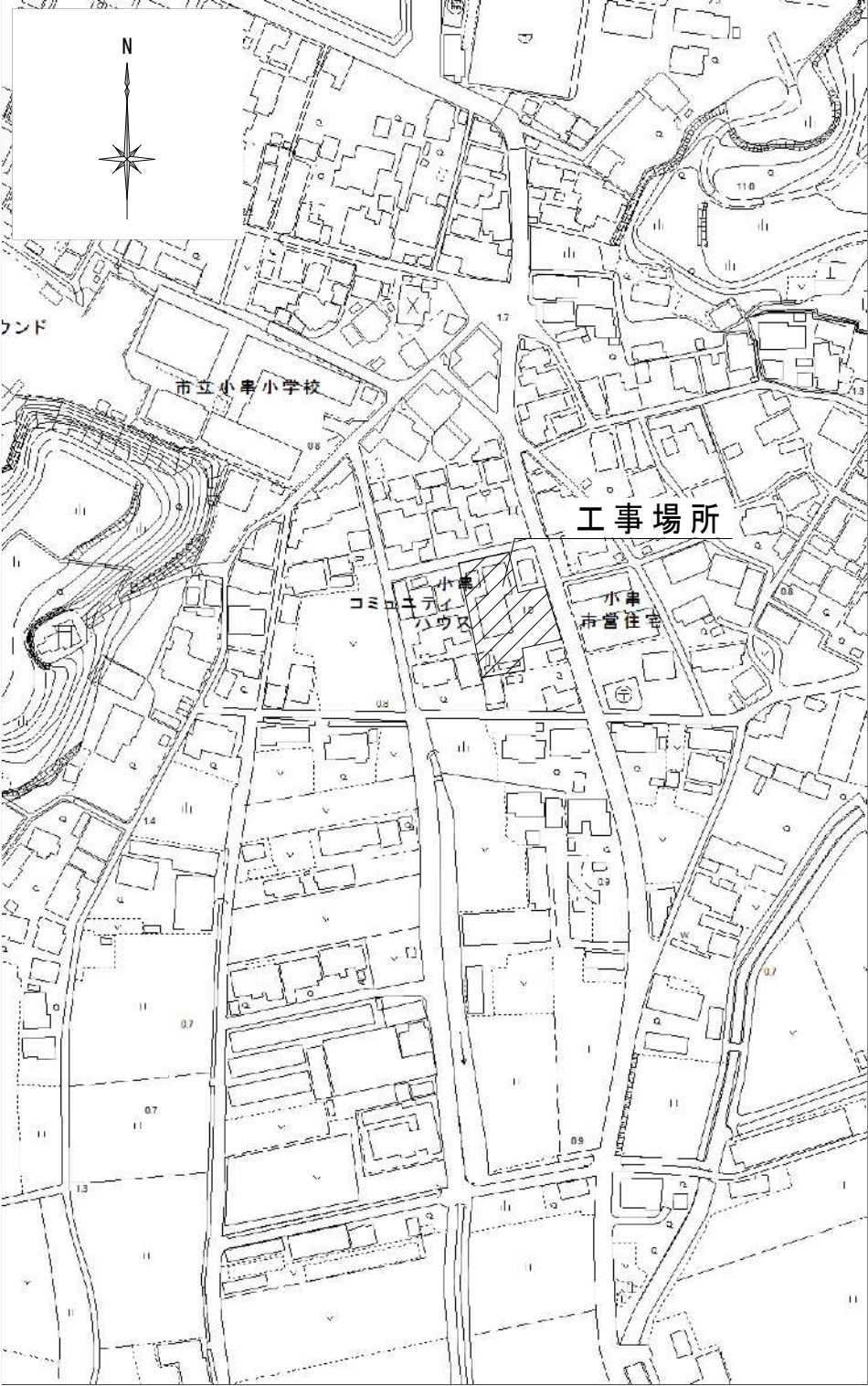
令和8年度

岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事

図面リスト

図番	図面名	縮尺 (A3)
A-00	表紙・図面リスト・附近見取図	1/2, 500
A-01	建築改修工事特記仕様書1	－
A-02	建築改修工事特記仕様書2	－
A-03	建築改修工事特記仕様書3	－
A-04	建築改修工事特記仕様書4	－
A-05	建築改修工事特記仕様書5	－
A-06	建築改修工事特記仕様書6	－
A-07	建築改修工事特記仕様書7	－
A-08	配置図兼仮設計画図 (参考)	1/150
A-09	平面図	1/100
A-10	立面図	－
A-11	天井伏図、屋根伏図	－
A-12	矩計図	－
A-13	プロパン庫 立面図・断面図・部分詳細図	1/30
A-14	建具表	－
E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	－
E-02	電気設備改修図	(A1) 1/50
E-03	電気設備撤去図	(A1) 1/50
M-01	空調設備・換気設備平面図・機器表	1/100
合 計		19枚

附近見取図 1/2, 500



工事名				岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事		No.	
図面名		表紙・図面リスト・附近見取図		縮尺	1/2, 500	A-00	
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年8月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	機関
						製図	

[illegible]

6	網戸等 [5.2.3] [5.3.3]	種類	材質	線径	網目
		・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
7	樹脂製建具 [5.3.2～4]	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm
		性能値等			
8	鋼製建具 [5.2.2] [5.4.2～4]	・耐風圧性の等級()、機械性の等級()、水密性の等級()			
		※改修標準仕様書5.3.1による種別			
9	鋼製軽量建具 [5.2.2] [5.5.2～4]	外部に面する建具	・A種(建具符号 全て・建具表による) ・B種(建具符号 全て・建具表による) ・C種(建具符号 全て・建具表による)		
		防音ドア、防音サッシの遮音性の等級	・適用する(等級・T-1・T-2)・適用しない(建具符号・建具表による)		
10	ステンレス製建具 [5.2.2] [5.4.2～5]	断熱ドア(G)、断熱サッシ(G)の断熱性の等級	・適用する(等級・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8)(建具符号・建具表による)		
		外部に面する建具の日射熱取得性の等級	・適用しない		
11	鍵 [5.8.4]	形状及び仕上げ	枠の見込み寸法	※建具表による	
		表面色	※標準色	・特注色	
12	自動ドア開閉装置 [5.9.2～3]	取付工法	水切り板、ゼン板	※図示	
		ガラス	※複層ガラス		
13	自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]	性能値等(建具符号:・建具表による)			
		簡易気密型	・適用する	・適用しない	
14	重量シャッター [5.11.2～5]	外部に面する面する建具の耐風圧性の等級	・S-4・S-5・S-6		
		防音ドア、防音サッシの遮音性の等級	・適用する(等級()・適用しない		
15	軽量シャッター [5.12.2～4]	断熱ドア(G)、断熱サッシ(G)の断熱性の等級	・適用する(等級()・適用しない		
		耐震ドアの面内変形追従性の等級	・適用する(等級()・適用しない		
16	オーバーヘッドドア [5.13.2～3]	ステンレス鋼板の材料	※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
		くつずりの仕上げ	ステンレス鋼板を用いる場合	※H以上	
17	ガラス [5.14.2]	形状及び仕上げ	鋼板の厚さ	※改修標準仕様書 表5.4.2による	・使用箇所()
		性能値等(建具符号:・建具表による)			
18	ガラス留め材 [5.14.2]	簡易気密型	・適用する	・適用しない	
		防音ドア、防音サッシの遮音性の等級	・適用する(等級()・適用しない		
19	ガラスブロック積み [5.14.5]	耐震ドアの面内変形追従性の等級	・適用する(等級()・適用しない		
		鋼板(屋外)	※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1		
20	ガラス用フィルム	鋼板(屋内)	※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1		
		表面仕上げ	※H以上仕上げ・鏡面仕上げ		
21	付属電気設備	ステンレス鋼板の曲げ加工	※普通曲げ	・角出し曲げ(・a角・b角・c角)	
		マスターキー	・製作する()	・製作しない	・既存に絡込む
22	木製建具 (5.7.2～4)	鍵箱	・設ける()	・設けない	
		引き戸用駆動装置	性能	※改修標準仕様書 表5.9.1による	
23	重量シャッター (5.7.2～4)	引き戸用検出装置の種類	※光線(反射)センサー	・電波センサー	・音波センサー
		タッチスイッチ	・押しボタンスイッチ	・無線式タッチスイッチ	・光線式タッチスイッチ
24	軽量シャッター (5.7.2～4)	車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置	性能	※改修標準仕様書 表5.9.2による	
		引き戸用検出装置の種類	※光線(反射)センサー	・電波センサー	・音波センサー
25	網戸等 (5.2.3) [5.3.3]	タッチスイッチ	・押しボタンスイッチ	・無線式タッチスイッチ	・光線式タッチスイッチ
		車椅子使用者用便所操作スイッチの種類	・大形(開・閉)押しボタンスイッチ	・非接触スイッチ	
26	自動ドア開閉装置 (5.9.2～3)	取得位置	・床面	※天井面	・壁面
		戸の開閉方式	※建具表による	・防錆	・適用する
27	自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)	凍結防止措置	・適用する	・適用しない	
		性能値等	※標準仕様書 表5.10.1による		
28	重量シャッター (5.11.2～5)	種類	・管理用	・外壁用防火	・屋内用防火
		外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度() Pa	開閉方式の種類	※電動式(手動併用)	・手動式
29	網戸等 (5.2.3) [5.3.3]	安全装置	電動シャッターの急降下制動装置	設置箇所	・建具表による
		電動シャッターの障害物感知装置	設置箇所	・建具表による	
30	軽量シャッター (5.12.2～4)	屋内用防火シャッター又は防煙シャッターの危害防止装置	設置箇所	・建具表による	

[illegible]

5機械式継手

[8. 4. 2]

使用箇所※構造図による

性能（H12建造第1463号に適合するもの）・A級・

種類

・ねじ筋鉄筋継手

充填方式

・無機グラウト方式・有機グラウト方式・

・端部ねじ加工継手

・モルタル充填継手・

工法

※第三者機関の評定等を取得している工法

鉄筋相互のあき

※評定等の評価内容による

品質の確認

※評定等の評価内容による

検査

※評定等の評価内容による

施工完了後の継手部の試験

・外観試験

試験対象

※全数

試験項目及び合否判定

※改修標準仕様書表8.4.1～表8.4.3による

・評定等の評価内容による

不合格となった場合の措置

※改修標準仕様書表8.4.2(5)（ア）(a)～(c)による

・構造図による

・超音波測定試験

試験対象

・抜取り

ロット

・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。

試験箇所数

1ロットに対して（）箇所

・全数

試験項目

※挿入長さ

不合格となった継手部への措置

・

6溶接継手

[8. 4. 3]

使用箇所※構造図による

性能（H12建造第1463号に適合するもの）・A級・

溶接継手の工法

・図示による（）・

鉄筋相互のあき

・改修標準仕様書8.4.5(4)による

・評定等の評価内容による

・図示による（）・

施工完了後の継手部の試験

・外観試験

試験対象

※全数

試験項目

・評定等の評価内容による

試験方法

・評定等の評価内容による

・超音波測定試験

試験対象

・抜取り

ロット

・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。

試験箇所数

1ロットに対して（）箇所

・全数

試験項目

※内部欠陥の検出

不合格となった継手部への措置

・

7圧接完了後の圧接部の試験

[8. 3. 9]

[5. 4. 9]

外観試験※行う（全数）・

超音波探傷試験※行う（全数）・

8既存構造物との取合い

[8. 21. 6]

割製補強筋

種類	材料	材質	径	本数ピッチ等	適用箇所
※スライダ筋	※鉄筋コンクリート用棒筋	※SR235	※φ6 ・φ9 ・φ11 ・φ13	Δ/△34筋の径（mm） ・ Δ/△34筋のピッチ（mm） （mm）	※図示 ・
・はしご筋	※鉄筋コンクリート用棒筋（異形鉄筋）	※SD595A	・D10	壁面内方向筋 （ 壁面外方向筋 （ （	

8-2コンクリートの種類

[8. 1. 3]

※I類（JIS A5308への適合を認証されたコンクリート）
・II類（I以外でJIS A5308に適合したコンクリート）

表8.1.1

2コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

[8. 1. 3~4]

設計基準強度 F _c （N/mm ² ）	気乾単位容積質量（t/m ³ ）	スランブ（cm）	適用箇所
・21	2.3程度	※15	建物躯体
・24		※18	（基礎・基礎梁、土間スラブ）
・		※18	建物躯体（柱、梁、スラブ、壁）

設計基準強度 F _c （N/mm ² ）	気乾単位容積質量（t/m ³ ）	スランブ（cm）	種類	適用箇所
		※21	・1種	
		・	・2種	

3コンクリートの構造体強度補正等の適用期間

[8. 2. 5]

[6. 3. 2]

[6. 12. 2]

工事場所	打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲（普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種）	普通コンクリートの適用期間	高強度コンクリートの適用期間
	8℃以上	0℃以上8℃未満	25℃超
	構造体強度補正値（S）(N/mm ²)	3	6
岡山市（旧○○）	○月○日～○月○日	○月○日～○月○日	○月○日～○月○日

4セメント

[8. 2. 5]

セメントの種類		使用箇所
・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(Ⅱ)、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(Ⅱ)		・IFLより下部
・高炉セメントB種(Ⅱ)		・IFLより立上る設備基礎、工作物基礎

・フライアッシュセメントB種(Ⅱ)

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

5骨材

[8. 2. 5]

アルカリシリカ反応性による区分

※A

・B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m³以下）

6混和材料

[8. 2. 5]

・混和剤種類※改修標準仕様書8.2.5(4)（ア）による

・混和材種類※改修標準仕様書8.2.5(4)（イ）による

7構造体用モルタル

[8. 2. 6]

圧縮強度（）フロー値（）

8無筋コンクリート

[6. 14. 1~3]

[8. 11. 1~3]

適用箇所

・標準仕様書6.14.1（4）による

・図示

設計基準強度F_c（N/mm²）

※18

スランブ

※15又は18

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント

9ひび割れ誘発目地打継目地

[6. 6. 4]

[6. 8. 1]

目地寸法

※標準仕様書9.7.3による

・

間隔

※図示による

・高炉セメントB種(Ⅱ)

位置

※図示による

ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

10コンクリートの仕上り

[8. 1. 4]

[8. 2. 7]

合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ

表8.1.4

種類	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの要項

表8.1.5

種類	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

11打増し厚さ

[6. 8. 1]

[8. 7. 8]

・打直し仕上げる打増し厚さ（外部に面する部分に限る）

・20mm

・打直し仕上げる打増し厚さ（内部に面する部分に限る）

・10mm

・20mm

・外装タイル後張り面の打増し処理

・20mm

・中空栓用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理

プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う

・10mm

・20mm

12型枠

[6. 8. 2]

[8. 2. 7]

せき板の材料及び厚さ

※合板（※12mm）

・メッシュ型枠（使用部位

※構造図による

・

・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲

※構造図による

・

スリーブ材

※標準仕様書6.8.2（9）（イ）による

・構造図による

断熱材兼用型枠

・使用しない

・使用する（※25mm以下かつ断熱抵抗値1m²/K以上）

MCR工法用シートの種類

・使用しない

・使用する（使用部位

※図示による

13型枠の加工及び部位

[8. 7. 6]

シアコネクタをセパレータとして使用

適用箇所

※構造図による

14コンクリートの打込み工法等

[8. 21. 8]

[8. 23. 5]

部位毎のコンクリート打設工法の指定

補強工法

現場打ちコンクリート製の増設工事

・流込み工法（・全て

・

・圧入工法（・全て

・

柱補強工事の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法

・流込み工法（・全て

・

・圧入工法（・全て

・

8-3鉄骨工事

鉄骨製作工場

[8. 1. 5]

[7. 1. 1]

[7. 1. 3]

※建築基準法第77条の5(6)に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場と同等以上の能力のある工場とするものとする。
（・Jグレード・Rグレード・Mグレード・Hグレード・Sグレード）

鉄骨製作工場における施工管理技術者

[8. 1. 6]

配置する

・配置しない

鋼材

[8. 2. 8]

種類等		
種類の記号	適用箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・行う（適用箇所：）

・行わない

4高力ボルト

[8. 2. 9]

[8. 13. 2]

[8. 14. 2]

区分

※トルシリアル高力ボルト2種（S10T）

・JIS形高力ボルト2種（F10T）

高力ボルトの径

※図示による

すべり試験

※行わない

・行う（・すべり係数試験

・すべり耐力試験）

試験方法等

※構造図による

すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)（イ）による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5溶融亜鉛めっき高力ボルト

[8. 2. 9]

[8. 13. 2]

[7. 12. 5]

セットの種類

※1種（F8T相当）

溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径

・大臣認定を受けた内容による

摩擦面の処理

※プラスト処理（表面粗度50μmR_z以上）

・プラスト以外の特別な処理（りん酸塩処理）

すべり試験

※行わない

・行う（・すべり係数試験

・すべり耐力試験）

試験方法等

※構造図による

すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)（イ）又は（イ）による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片で行うこと。

6普通ボルト

[7. 2. 3]

ボルト及びナットの材料等

※標準仕様書表7.2.3による

床金

※標準仕様書表7.2.3（4）による

母屋又は鋼橋の取付けに使用するボルトの孔径

※ねじの呼び径+1.0mm

・図示

7アンカーボルト

[7. 2. 4]

[7. 3. 2]

[7. 10. 3]

適用

・構造用アンカーボルト

セットの種類

・ABR400

・ABR490

・B種

形状、寸法

※構造図による

・建方用アンカーボルト

種類

・SS400

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げる程度

※標準仕様書表7.2.3による

・構造図による

・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト

適用箇所

・図示による（）

・

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げる程度

※標準仕様書表7.2.3による

・

8溶接材料

[8. 2. 10]

・改修標準仕様書8.2.10（1）（2）による

・図示による

9ターンバックル

[7. 2. 6]

種類

建築用ターンバックル鋼

※割弁式

建築用ターンバックルボルト

※羽子板ボルト

ねじの呼び

※構造図による

・

10デッキプレート

[7. 2. 7]

工法の種類

・合成スラブ（適用箇所

・構造図による

・

・床型枠用（適用箇所

・構造図による

・

・

材質、形状及び寸法

・構造図による

・

鉄骨部材への溶接方法

・構造図による

耐火認定

・有り（耐火時間

・図示による

・

・なし

11スタッド

[8. 2. 11]

※額付スタッド（JIS B1198）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用箇所		
16φ	・80	・100	・120	
19φ	・80	・100	・130	・150
22φ	・80	・100	・130	・150

12柱底均しモルタル

[8. 2. 12]

モルタルの種類

※無収縮モルタル

無収縮モルタルの材料及び割合

※改修標準仕様書8.2.12による

13製作精度

[8. 13. 3]

・改修標準仕様書8.13.3及びH12建造第1464号第二号イによる

適しダイヤグラムの許容誤差

・ダイヤグラムをH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り

補強方法

・「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

・全てのダイヤグラムはH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

14仮組

[8. 13. 10]

※行わない

・行う（適用範囲

※構造図による

・

・

15高力ボルト接合

[8. 14. 2]

スプライスプレートの材質

※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする

フレーザープレートの材質

※SS400とする

16溶接接合

[8. 15. 4]

[8. 15. 7]

開先形状

※構造関係共通事項4溶接継手の種類別開先標準による

・構造図による

スカラップ形状

※構造関係共通事項6スカラップによる

・構造図による

鋼製エンドタブの切断する部分

※構造図による

・

切断する箇所

※構造図による

・

切断する範囲

・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断面が交差する場合は、交差部を7-4状に加工する

切断面の仕上げ

※改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による

・構造図による

完全溶込み溶接部の余盛り高さ

※（一社）日本建築学会「JASS6鉄骨工事」

付表6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による

鋼製エンドタブ・裏当て金

※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする

17入熱、バス開温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

※構造関係共通事項による

・図示

適用箇所

※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

・図示による

18溶接部の試験

[8. 15. 12]

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※行う

・行わない

工場溶接の場合

※全数

工事現場溶接の場合

※全数

割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査

補強マニュアル」による

独立行政法人建築研究所監修

「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

・抜き取り検査1

※抜き取り検査2

19耐火被覆

[8. 18. 2~5]

種別及び性能

種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入型耐力カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	—		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適用箇所（部位・部分）
・30分耐火	
・1時間耐火	
・2時間耐火	
・3時間耐火	

20建方精度

[7. 10. 2]

21アンカーボルトの保持及び埋込み工法

[7. 2. 4]

[7. 10. 3]

構造用アンカーフレームの形状及び寸法

※構造図による

建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法

表7.10.1

種別

・A種

・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別

表7.10.2

※標準仕様書表7.10.2（※A種【モルタル厚さ50】

・B種【モルタル厚さ30】）による

22錆止め塗装

[7. 4. 3]

[8. 17. 2~4]

塗装の範囲

・耐火被覆材の接着する面の塗装範囲

※構造図による

・耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲

※改修標準仕様書8.17.1(1)(イ)～(イ)による部分以外

・構造図による

塗装種別

下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料

※A₁種

・

・耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料

種別等

表8.20.1

差込みの種別	材料	適用箇所
A種（HDZ177）	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	※図示による
B種（HDZ163）	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	・
C種（HDZ149）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	・
	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

8-4あと施工アンカー工事

1あと施工アンカー

[8. 2. 4]

引張耐力

・せん断耐力

・

・金属系アンカー

本 体		接合筋	
径（mm）	埋込み深さ（mm）	セット方式	種類
		本体打ち込み式改良型	
		〃	

・接着系アンカー

径（mm）	埋込み深さ（mm）	接着剤の材質	アンカーの種類	アンカー筋の種類
		※有機系	※カプセル方式回転・打撃式	
		・無機系		

アンカー筋の新設壁内への定着の長さ

※構造図による

・

2穿孔前の埋込配管等の探査

[8. 12. 4]

探査範囲

※穿孔範囲の全て

探査方法

※鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に重出しを行う

・はつり出しによる

・

3施工確認試験

[8. 2. 4]

[8. 12. 7]

[14. 1. 3]

性能確認試験

※行わない

・行う

施工後の確認試験

※引張試験機による引張試験

確認強度

・構造図による

・

4シアコネクタ

[8. 7. 6]

・金属拡張系アンカー

適用箇所

※構造図による

・

・接着系アンカー

適用箇所

※構造図による

・

5施工管理技術者

[8. 12. 2]

（一社）日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。

8-5グラウト工事

1柱底均しモルタル

[8. 2. 12]

無収縮モルタル

・使用する

・使用しない

2グラウト材

[8. 2. 12]

無収縮グラウト材の材質等

混和材

セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等によって膨張する性質を利用するもの）とする。

セメント

JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。

砂

土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。

ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンシステンシー

Jフローによる落下時間

修正完了から3分以内の値

・8±2秒

ブリージング

線り混ぜ2時間後のブリージング率

・2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

・1時間以上

終結時間

・10時間以内

膨張率

材齢7日

収縮しない

圧縮強度

材齢3日

20N/mm²以上

材齢28日

40N/mm²以上

塩化物質

0.30kg/m³以下

試験方法

1）NEXCO試験方法

試験法312-2024「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。

プレミックス形と現場混合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。

2）塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

8-6連続繊維シート工事

1連続繊維シート

[8. 2. 13]

[8. 24. 6]

[8. 24. 7]

連続繊維の材料

・炭素繊維

・アラミド繊維

・

連続繊維の材質

引張強度（含浸硬化後）

・（）N/mm²

・

ヤング係数（含浸硬化後）

・（）N/mm²

・

繊維目付量

・（）g/m²

・

シート厚さ

・（）mm

・

シート貼付け方向

※図示

定着方法

※図示

含浸接着樹脂

・低臭型

・

プライマー

・低臭型

・

工事名

岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事

No.

図面名

建築改修工事特記仕様書5

A-05

岡山市都市整備局住宅・建設部公共建築課

岡山市都市整備局住宅・建設部公共建築課

担当

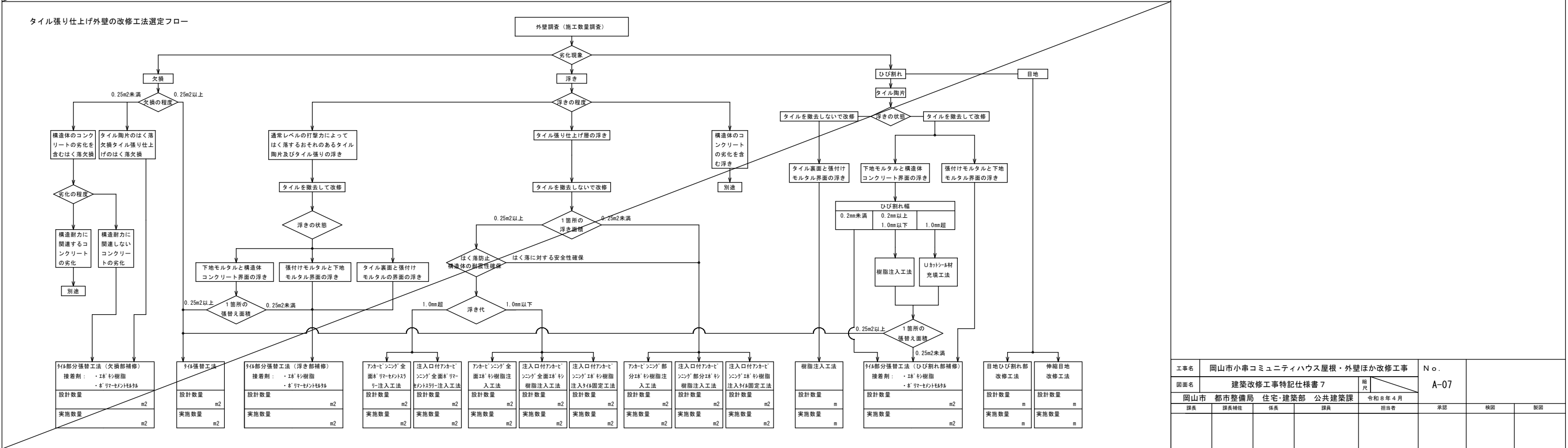
担当者

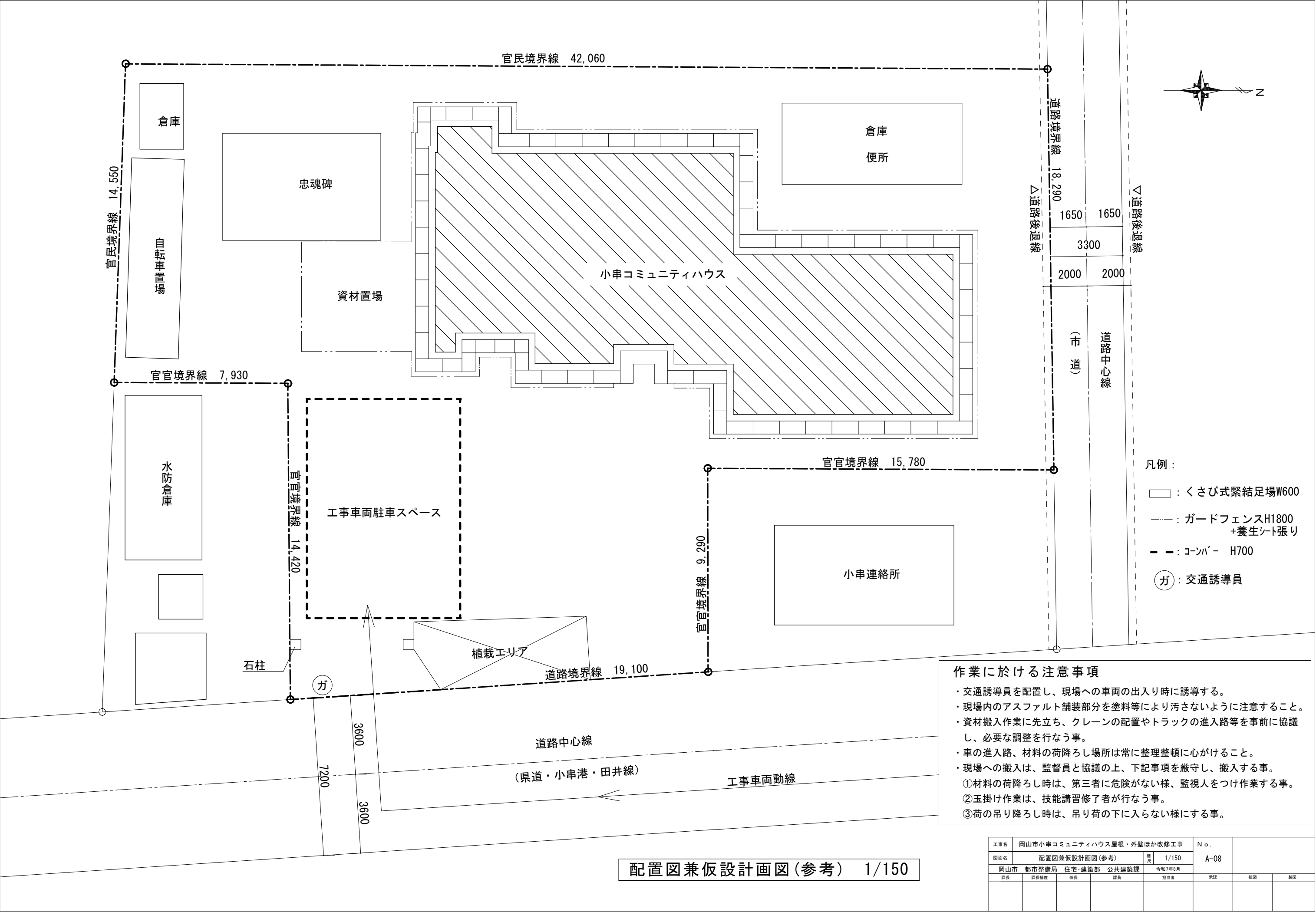
承認

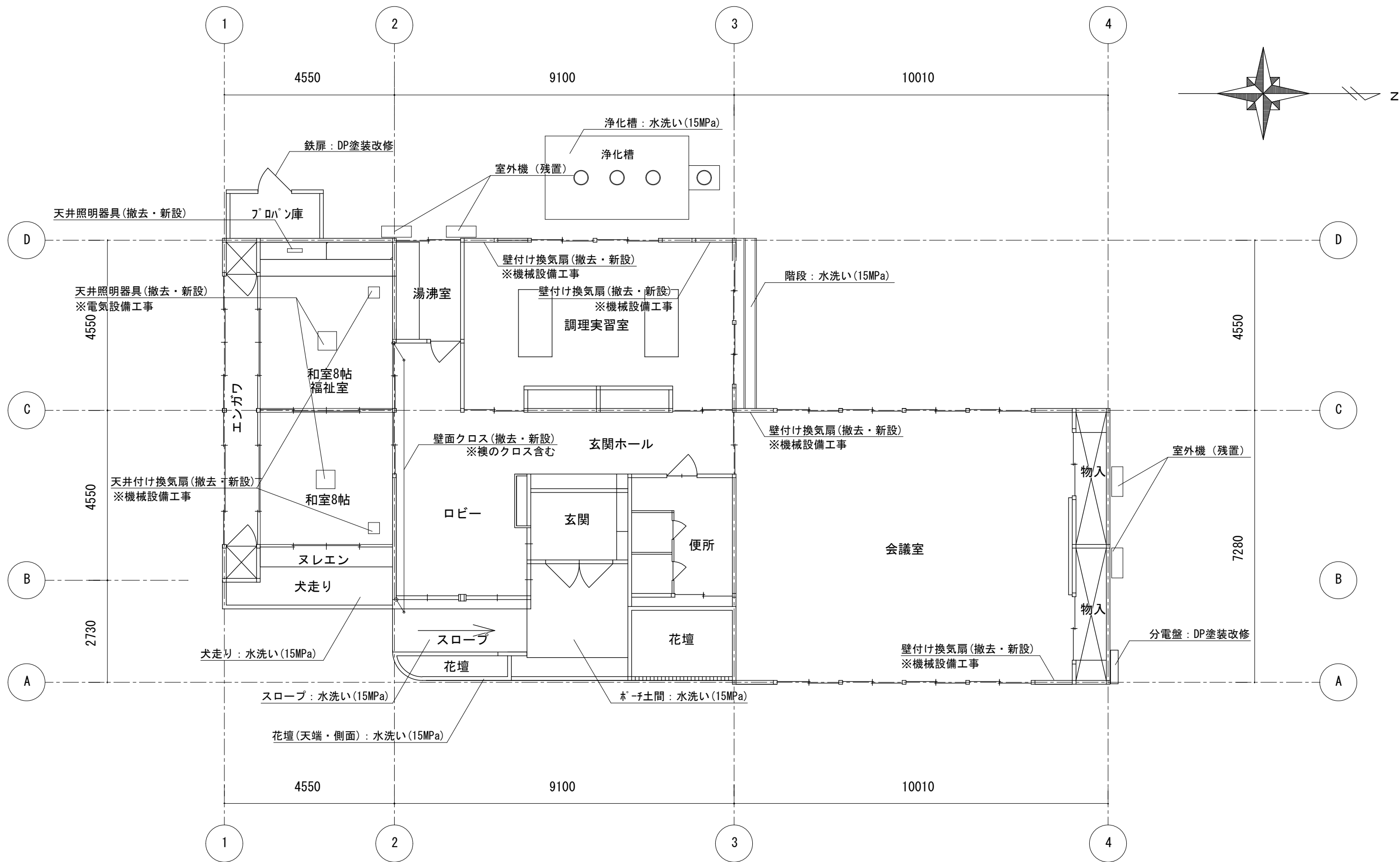
検閲

製図

[illegible]

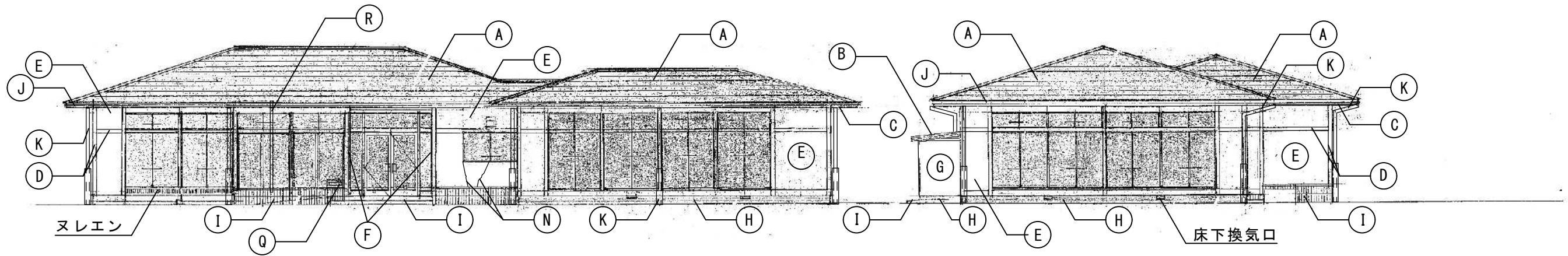






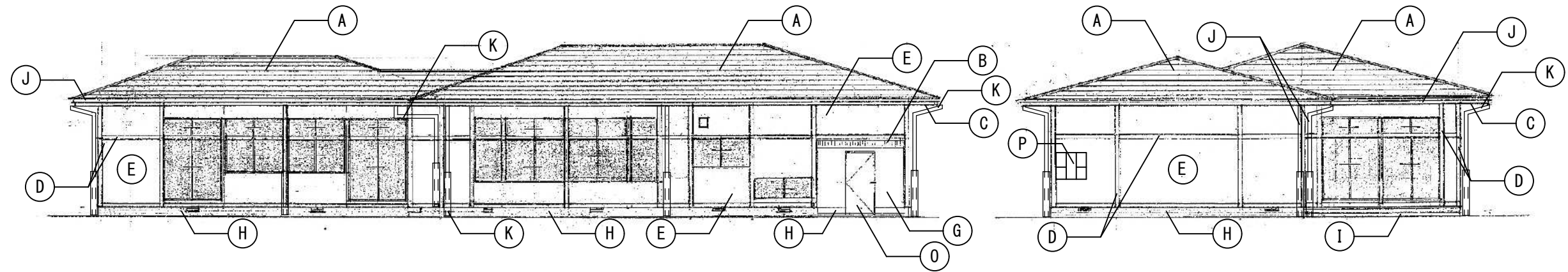
平面図 1/100

工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.		
図面名	平面図			縮尺	1/100	A-09	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	課長	令和7年8月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



東立面図 non-scale

南立面図 non-scale



西立面図 non-scale

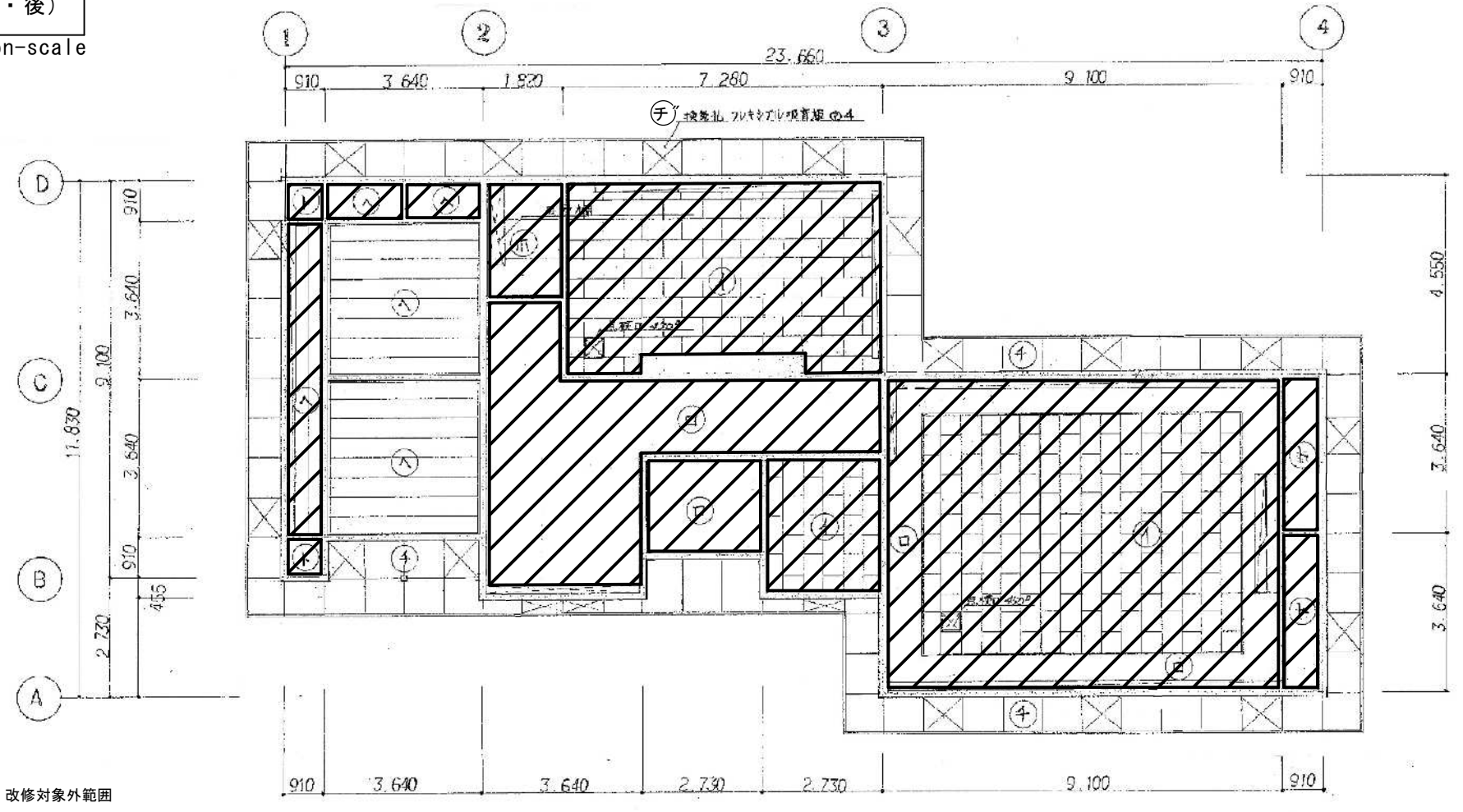
北立面図 non-scale

仕上げ リスト																																																															
A	石綿セメント板 屋根	改修前	屋根伏図参照	F	外壁 (玄関廻り)	改修前	モルタル刷毛引き 砂壁状合成樹脂吹付(残置)	K	壁樋	改修前	塩ビ75φ(撤去)	Q	名板	改修前	銅板製施設名板(W745、H200)(残置)																																																
		改修後	同上			改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	VP75φ(新設) ※養生管は残置とする。			改修後	銅板反り補修																																																
B	ストレート 屋根	改修前	小波石綿ストレート葺き(撤去)	G	外壁	改修前	CBt100モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付(残置)	L	建具周り	改修前	シーリング(撤去) ※撤去範囲は建具表による	R	外灯ポール	改修前	銅製ポール(φ100、H3.4m)(残置)																																																
		改修後	折板屋根(新設) ※詳細図を参照すること。			改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	変成シリコン系シーリング MS-2(新設) ※新設範囲は建具表による			改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																																
C	軒天	改修前	天井伏図参照	H	巾木	改修前	色モルタルコテ仕上(残置)	N	外壁クラック	改修前		<table><tr><td>工事名</td><td colspan="4">岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事</td><td colspan="2">No.</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">立面図</td><td>縮尺</td><td colspan="4">-</td></tr><tr><td colspan="5">岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課</td><td colspan="2">令和7年8月</td><td rowspan="3">承認</td><td rowspan="4">検図</td><td rowspan="4">製図</td></tr><tr><td>課長</td><td>課長補佐</td><td>係長</td><td colspan="2">課員</td><td colspan="5">担当者</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td colspan="5"></td></tr></table>				工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.				図面名	立面図			縮尺	-				岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年8月		承認	検図	製図	課長	課長補佐	係長	課員		担当者														
		工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.																																																								
図面名	立面図			縮尺	-																																																										
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年8月		承認	検図	製図																																																						
課長	課長補佐	係長	課員		担当者																																																										
D	外壁木部	改修前	木製化粧柱梁材(残置)	I	土間・スラブ 花壇等	改修前	コンクリート仕上、タイル等(残置)			O	鉄扉	改修前	鋼製扉(W900、H1820)(残置)																																																		
		改修後	下地調整の上、WP塗装(新設)			改修後	高圧洗浄15Mpa	改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																																						
E	外壁	改修前	モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付(残置)	J	鼻隠し	改修前	木製 WP塗装(残置)	P	分電盤	改修前	鋼製(W900、H930、D200)																																																				
		改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	下地調整の上、WP塗装(新設)			改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																																				

※ヌレエンは下地調整の上、WP塗装を行うこと。
※床下換気口W0.4×H0.18(12箇所)は、下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装を行うこと。
※軒樋：塩ビ角型120(撤去)、塩ビ角樋120(新設)〈屋根全周に設置されている〉
※外壁と化粧柱梁材との間に隙間がある場合、シーリング処理(MS-2)をしてから外壁の塗装作業を行うこと。

天井伏図(改修前・後)

non-scale



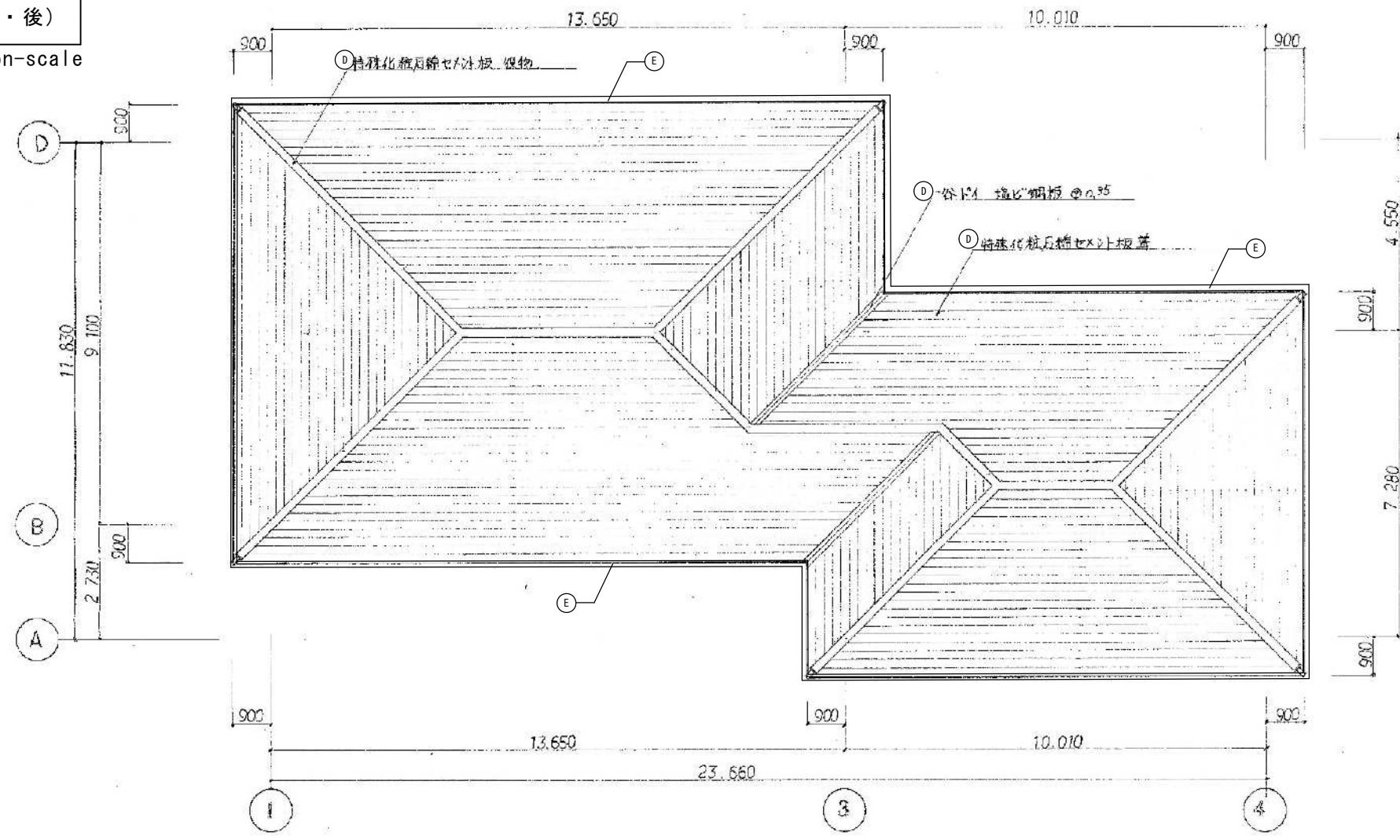
: 改修対象外範囲

※天井裏には全て断熱材t50があるため、天井仕上材を撤去する際には注意すること。

仕上げ リスト			
へ	天井	改修前	長尺化粧石膏ボード杉葺 t9.0(撤去)
		改修後	化粧石膏ボード t9.5(新設)
チ	軒天	改修前	フレキシブル板 t4.0 アクリリシ吹付仕上(撤去)
		改修後	軒天井ホート(塗装板) t5.0(新設)、軒天廻り縁(新設)
チ〃	軒天	改修前	フレキシブル吸音版板 t4.0 アクリリシ吹付仕上(撤去)
		改修後	有孔軒天井ホート(塗装板) t5.0(新設)、軒天廻り縁(新設)

屋根伏図(改修前・後)

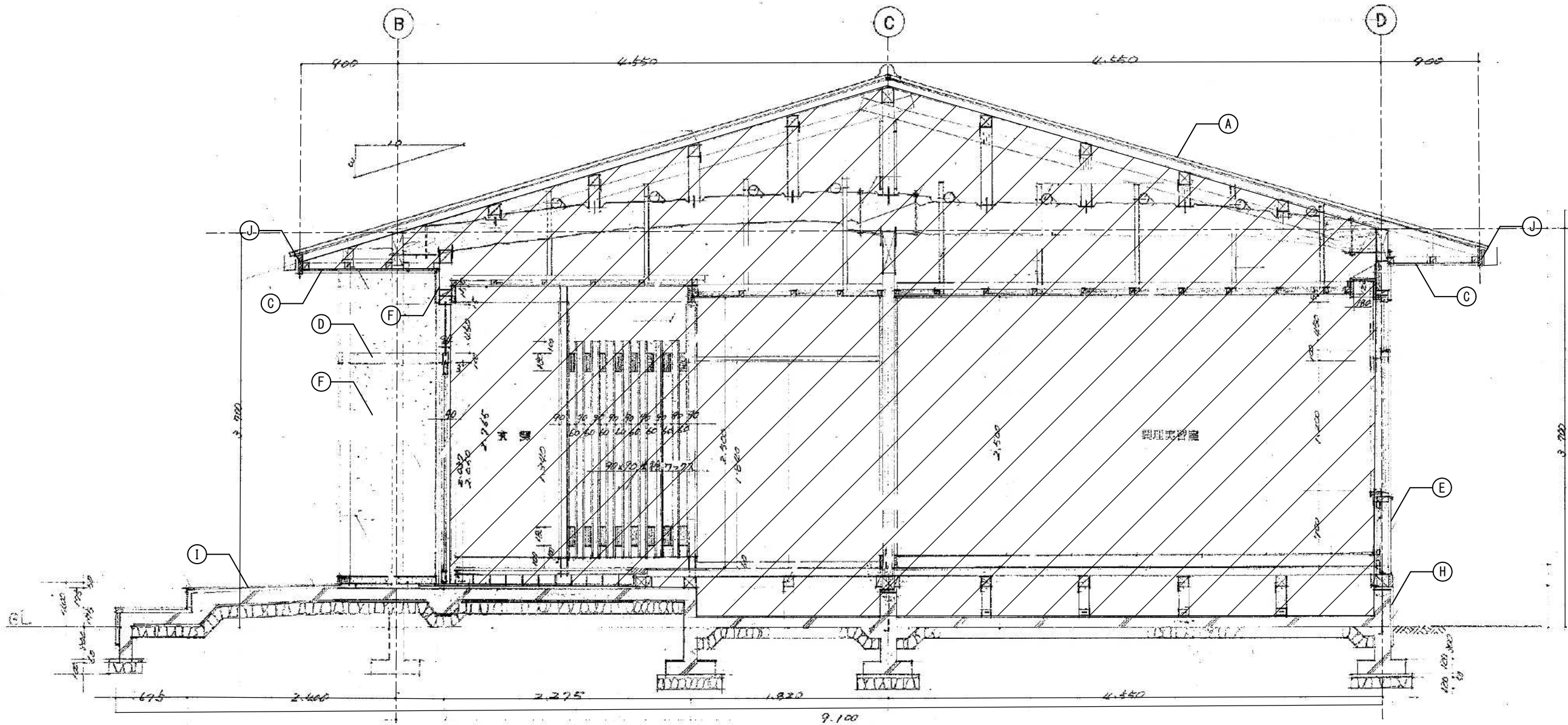
non-scale



仕上げ リスト			
D	石綿セメント板 屋根	改修前	カラーベスト コロニアル葺(残置)
		改修後	水洗い15MPa、下地調整(エポキシ系樹脂モルタル)、超速硬化ウレタン防水
	石綿セメント板重ね ジョイント部	改修前	
		改修後	ホリウレタン系シーリング、下地調整(エポキシ系樹脂モルタル)、超速硬化ウレタン防水
	鋼板取合	改修前	谷ドイ 塩ビ鋼板(残置)
		改修後	絶縁テープ処理、下地調整(エポキシ系樹脂モルタル)、超速硬化ウレタン防水
E	軒樋	改修前	塩ビ角型120(撤去)
		改修後	塩ビ角樋120(新設)

※棟部等のビス頭はすべてシーリング処理を行うこと。

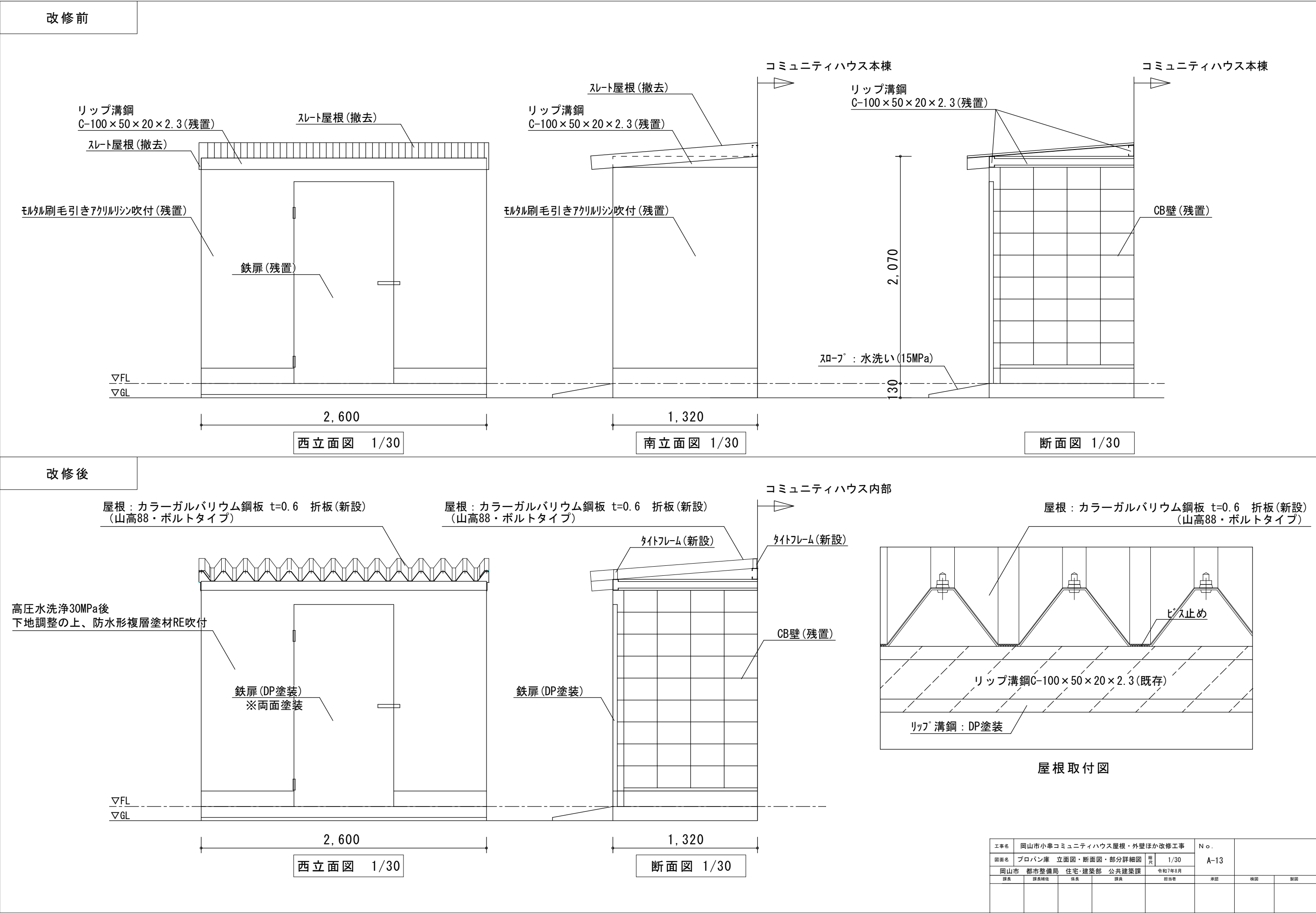
工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.			
図面名	天井伏図・屋根伏図			縮尺	-	A-11		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年8月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図

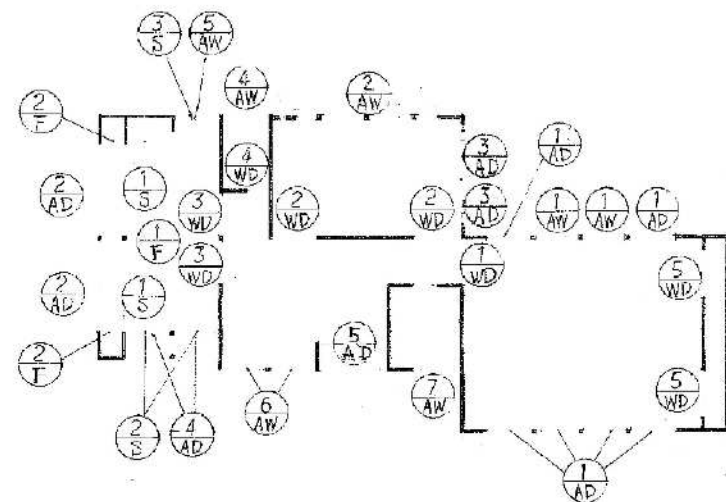


天井伏図(改修前・後) non-scale

軒樋：塩ビ角型120(撤去)、塩ビ角樋120(新設)
※屋根根全周に設置されている。

仕上げ リスト				※屋根全周に設置されている。																																																						
A	石綿セメント板 屋根	改修前	屋根伏図参照	F	外壁 (玄関廻り)	改修前	モルタル刷毛引き 砂壁状合成樹脂吹付(残置)	K	壁樋	改修前	塩ビ75φ(撤去)	Q	名板	改修前	銅板製施設名板(W745、H200)(残置)																																											
		改修後	同上			改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	VP75φ(新設) ※養生管は残置とする。			改修後	銅板反り補修																																											
B	ストレート 屋根	改修前	小波石綿ストレート葺き(撤去)	G	外壁	改修前	CBt100モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付(残置)	L	建具周り	改修前	シーリング(撤去) ※撤去範囲は建具表による	R	外灯ポール	改修前	銅製ポール(φ100、H3.4m)(残置)																																											
		改修後	折板屋根(新設) ※詳細図を参照すること。			改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	変成シリコン系シーリングMS-2(新設) ※新設範囲は建具表による			改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																											
C	軒天	改修前	天井伏図参照	H	巾木	改修前	色モルタルコテ仕上(残置)	N	外壁クラック	改修前		<table><tr><td>工事名</td><td colspan="4">岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事</td><td colspan="2">No.</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">矩計図</td><td>縮尺</td><td colspan="4">-</td></tr><tr><td colspan="2">岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課</td><td colspan="2">令和7年8月</td><td colspan="2" rowspan="2">担当者</td><td rowspan="2">承認</td><td rowspan="2">検図</td><td rowspan="2">製図</td></tr><tr><td>課長</td><td>課長補佐</td><td>係長</td><td>課員</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.				図面名	矩計図			縮尺	-				岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年8月		担当者		承認	検図	製図	課長	課長補佐	係長	課員									
		工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.																																																			
図面名	矩計図			縮尺	-																																																					
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年8月		担当者		承認	検図	製図																																																		
課長	課長補佐	係長	課員																																																							
改修後	同上	改修後	高圧洗浄15Mpaの上、撥水材塗装(新設)	改修後	変成シリコン系シーリングMS-2(新設)																																																					
D	外壁木部	改修前	木製化粧柱梁材(残置)	I	土間・スロップ 花壇等	改修前	コンクリート仕上、タイル等(残置)	O	鉄扉	改修前	鋼製扉(W900、H1820)(残置)																																															
		改修後	下地調整の上、WP塗装(新設)			改修後	高圧洗浄15Mpa			改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																															
E	外壁	改修前	モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付(残置)	J	鼻隠し	改修前	木製 WP塗装(残置)	P	分電盤	改修前	鋼製(W900、H930、D200)																																															
		改修後	高圧水洗浄30Mpa後、下地調整の上、防水型複層塗材RE吹付			改修後	下地調整の上、WP塗装(新設)			改修後	下地調整及び錆止め塗装の上、DP塗装(新設)																																															





建具配置図 S=1/200

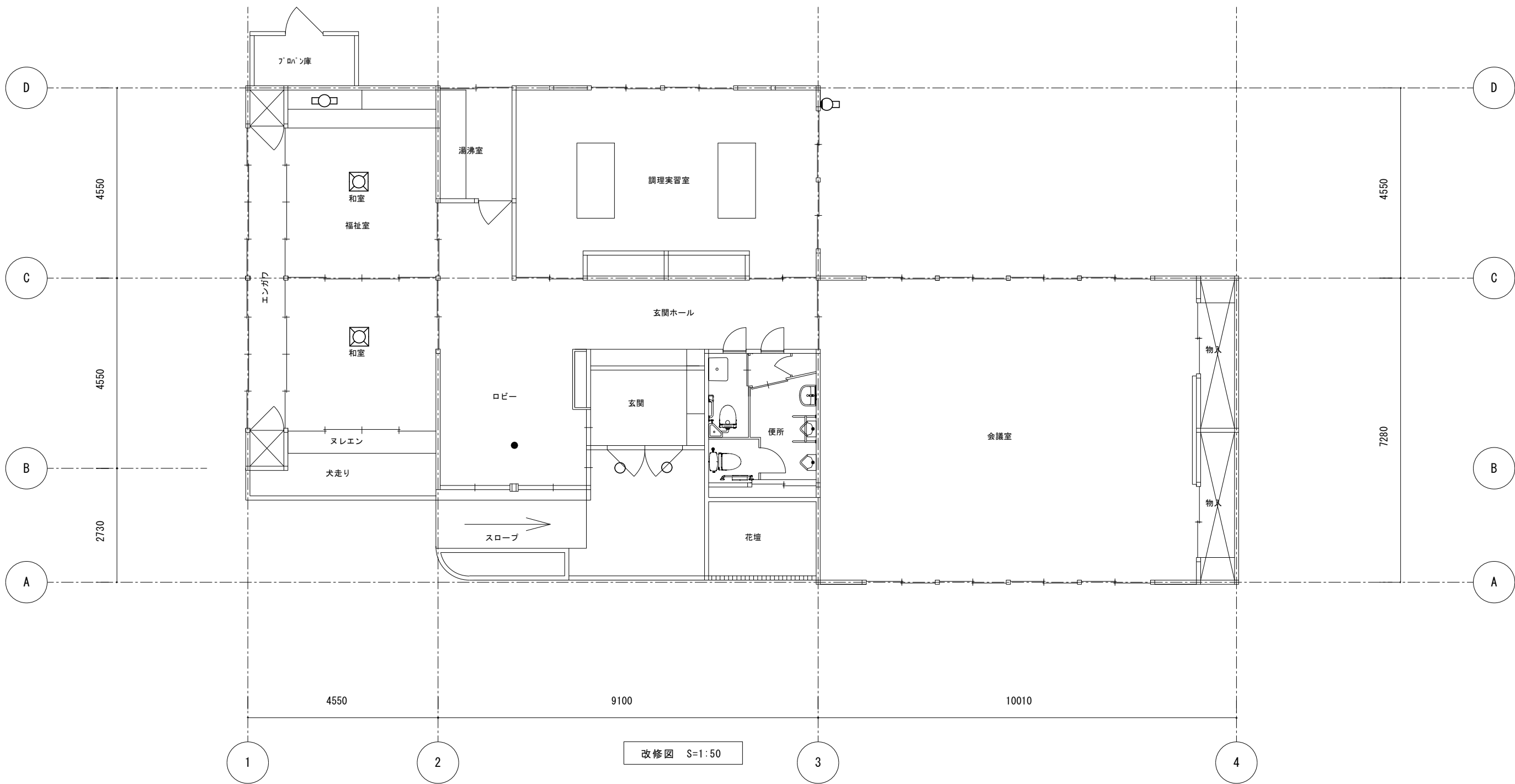
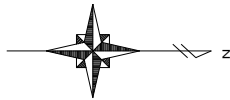
図号	① AD 6ヶ所	② AD 2ヶ所	③ AD 2ヶ所	④ AD 2ヶ所
形状寸法				
取付場所	大会議室 窓下付引違アルミサッシ	応接室 窓下付引違アルミサッシ	調理実習室 窓下付引違アルミサッシ	和室多目的室 窓下付引違アルミサッシ
材種	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ
寸法	70	70	70	70
硝子	トリプル 5% 遮光	トリプル 5% 遮光	トリプル 5% 遮光	トリプル 5% 遮光
塗装				
金物	附属金物一式 ステンレス仕様	附属金物一式 ステンレス仕様	附属金物一式 ステンレス仕様	附属金物一式 ステンレス仕様

図号	① AW 2ヶ所	② AW 1ヶ所	③ AW 1ヶ所	④ AW 1ヶ所	⑤ AW 1ヶ所	⑥ AW 2ヶ所	⑦ AW 1ヶ所
形状寸法							
取付場所	大会議室 窓下付引違アルミサッシ	調理実習室 窓下付引違アルミサッシ		講義室 窓下付引違アルミサッシ	福祉室 窓下付引違アルミサッシ	ロビー Fix付	便所 窓下付引違アルミサッシ
材種	カラーアルミ	カラーアルミ		カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ
寸法	60	60		60	60	70	60
硝子	トリプル 5% 遮光	トリプル 5% 遮光		トリプル 5% 遮光	複板 4% 遮光	ブロンズ 5% 遮光	複板 4% 遮光
塗装							
金物	附属金物一式 ステンレス仕様	附属金物一式 ステンレス仕様		附属金物一式 ステンレス仕様	附属金物一式 ステンレス仕様	排障装置取付一式	附属金物一式 ステンレス仕様

図号	① F 1ヶ所	② F 2ヶ所	⑤ AD 1ヶ所
形状寸法			
取付場所	福祉室 窓下付引違アルミサッシ	応接室 窓下付引違アルミサッシ	玄関 窓下付引違アルミサッシ
材種	ガラス 複板	ガラス 複板	カラーアルミ
寸法	24	24	94
硝子	新製硝子紙貼	新製硝子紙貼	複板トリプル (10% 遮光)
塗装	ガラスコート	ガラスコート	
金物	引手 窓下付 (純正品)	引手 窓下付 (純正品)	ストップ付引手 取付 窓下付 (純正品)

※外部建具：シーリング撤去新設(四周)
※新設シーリングの種類は変性シリコン系シーリングMS-2とする。

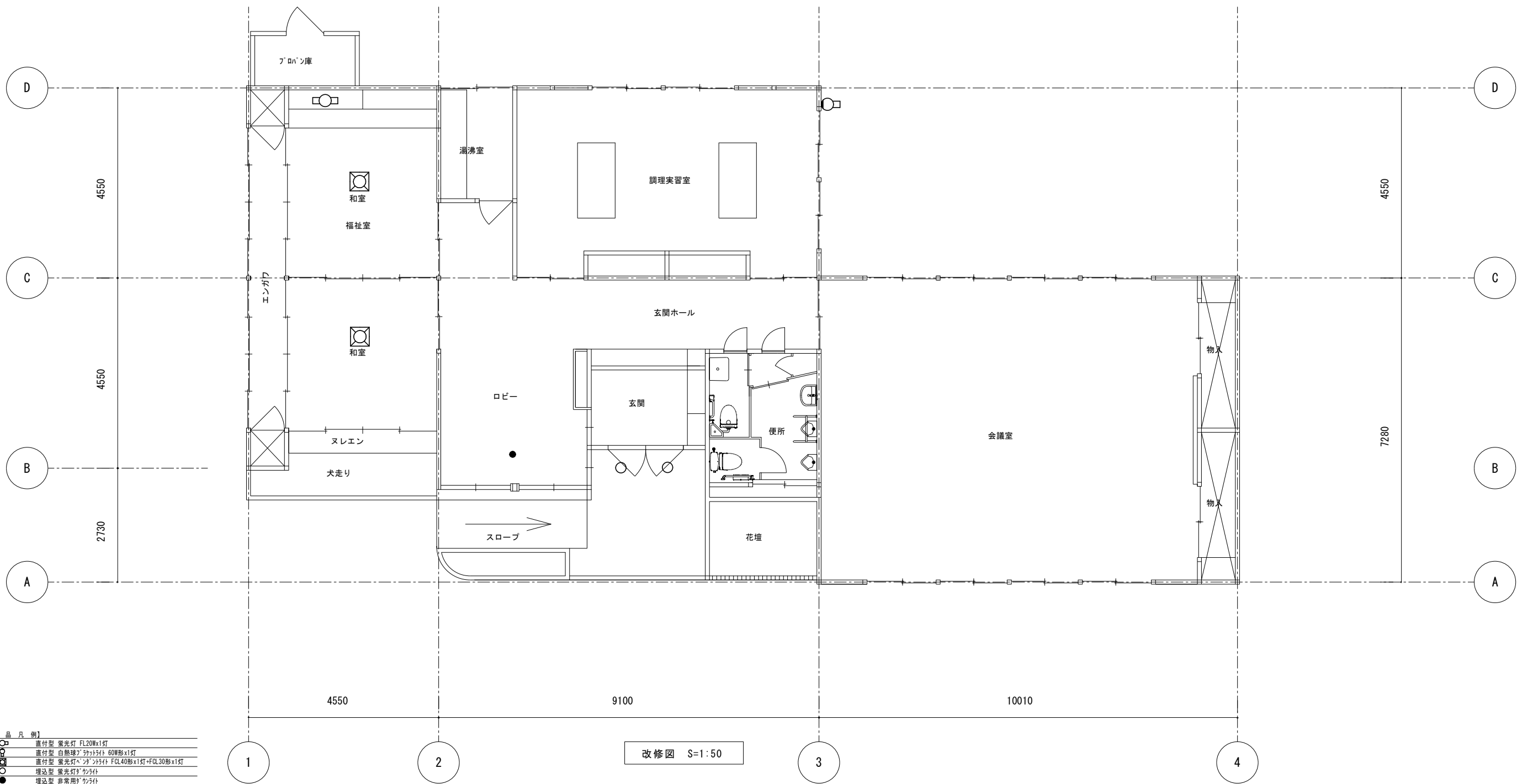
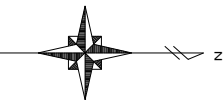
工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事	No.	
図面名	建具表	縮尺	-
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課	令和7年8月	担当者	
課長	課長補佐	係長	課員
		承認	検図
			製図



改修図 S=1:50

A	LED照明器具	B	LED照明器具	C	LED照明器具	D	LED照明器具	E	非常用LED照明器具
	器具光束：3405lm 消費電力：28.1W 電圧：100 色温度：昼光色（6200K）		器具光束：一般タイプ、800lmタイプ 消費電力：5.9W（AC200V時） 電圧：100～242V 色温度：昼白色（5000K）		器具光束：一般タイプ、990lmタイプ 消費電力：10W 電圧：100～242V 色温度：昼白色（5000K）		器具光束：一般タイプ、575lmタイプ 消費電力：4.2W 電圧：100～242V 埋込穴：φ150 色温度：昼白色（5000K） リニューアブルプレート共		消費電力：1W 電圧：100～242V 埋込穴：φ100 色温度：昼白色（5000K）
	参考型番 LGB12625LE1		参考型番 XFX200NENLE9		公共型番 LBF3MP/RP-2-06		参考型番 XNW063WNLE9+NNK00002W		公共型番 K1-LRS11-2

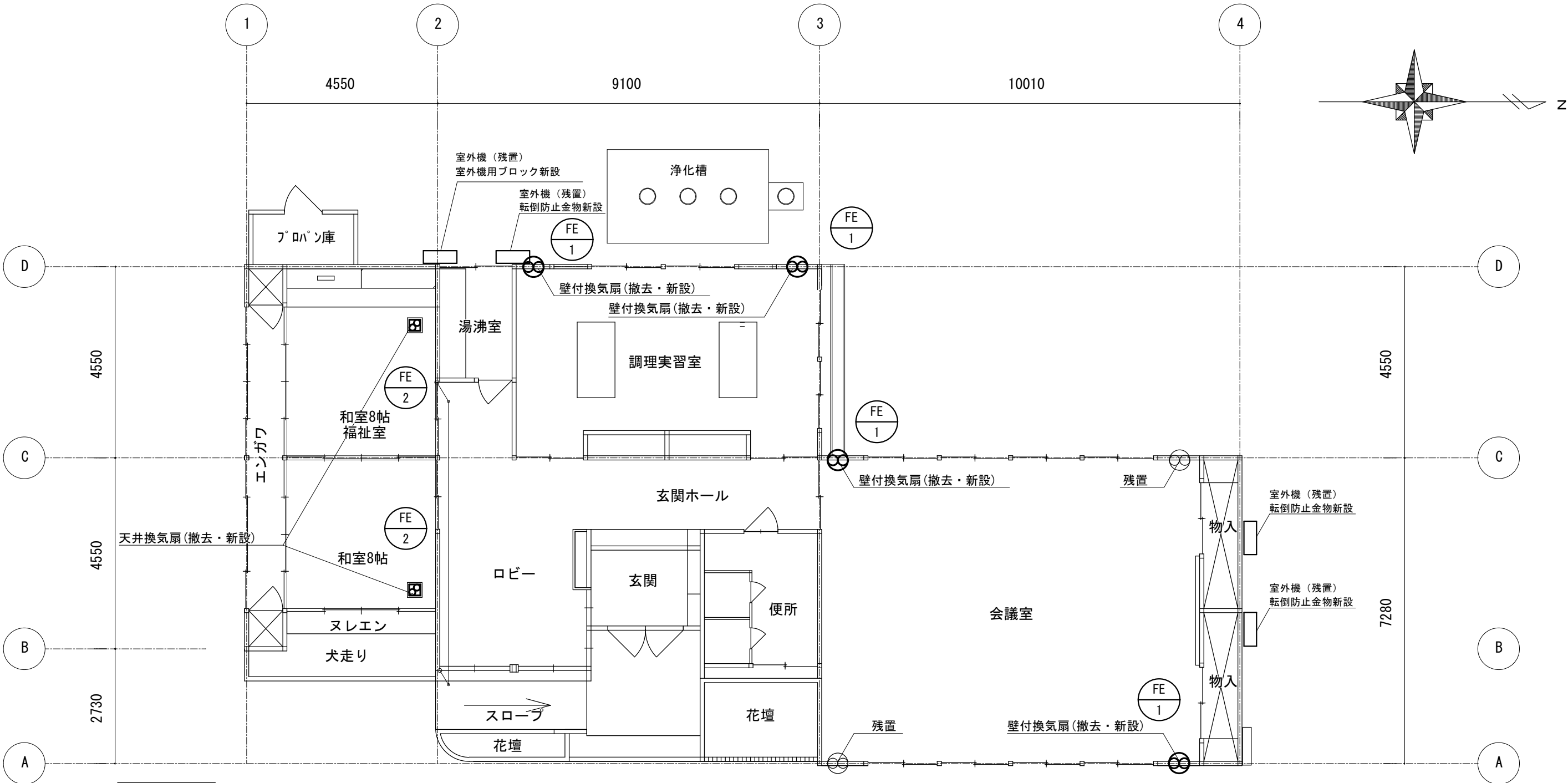
工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				№	E-02		
図面名	電気設備改修図				縮尺	A1:1/50		
担当課長	岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年3月	E-03		
主幹	係長	課員	担当者	承認	検図	製図		



【撤去品凡例】	
	直付型 蛍光灯 FL20Wx1灯
	直付型 白熱球 75Wx1灯・60W形x1灯
	直付型 蛍光灯 40Wx1灯・FCL40形x1灯・FCL30形x1灯
	埋込型 蛍光灯 40Wx1灯
	埋込型 非常用 40Wx1灯

【注 記】
配管、電線、ケーブル類は再使用すること。
施工に際しては施設管理者と事前に協議の上、作業を行うこと。
撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、
リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。
なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、
法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。
保管場所については、監督員の指示に従うこと

工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事	No.	
図面名	電気設備撤去図	縮尺	A1:1/50
図面番号	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年3月	E-03
担当課長	主幹	係長	課員
		担当者	承認
			検図
			製図



換気機器リスト										
機器記号	名 称	機器仕様	電動機					台数	設置場所	備考 (参考型番)
			φ-V	KW (W)	起動	操作	監視			
FE-1	壁付換気扇	連動式・電気シャッター	1-100	(17.5)	直入れ	手元	—	4	調理実習室	EX-25RK10-C
		風量 (m³/h) 690							会議室	
		ウェザーカバー (ステンレス製 25cm用)								
		ウェザーカバー用防鳥網								P-25CS4
		木枠								W-252
FE-2	天井換気扇	φ 150	1-100	(29.5)	直入れ	手元	—	2	和室	VD-18ZC14-1N
		風量 (m³/h) 310								P-315GB2-G
		(付属品)								
		カバー (インテリア格子タイプ : ライトオーク)								

工事名	岡山市小串コミュニティハウス屋根・外壁ほか改修工事				No.			
図面名	空調設備・換気設備平面図・機器表			縮尺	1/100	M-01		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図